# 鷹取山自然観察会会報

2015.3.8 No.7

## 鷹取山蝶類について

### -中間報<del>告</del>-

蝶は美しい羽をもち、誰でも見分けることのできる大型の昆虫です。蝶は種ごとに違った食草をもち、気候など環境の違いによってもすみ分けをしています。このため、地域の環境を評価するために蝶はよい指標となっています。鷹取山自然観察会では2014年6月から会員により月一度の蝶類調査を始めました。専門家がいない中で捕集網と図鑑を手に調査を行いました。

三浦半島は三方を海に囲まれ黒潮の影響 を受けるため暖地性の蝶が多く分布してい ます。横須賀市自然・人文博物館によれば 三浦半島には84種が記録されています。 このうち、普通にみられる健在種は35 種、近年減少または絶滅に追いやられてい る減少種26種、温暖化などで増加傾向に ある増加種7種、単発的に記録される偶産 種9種、外来種7種となっています。

ここでは2014年6月から10月までの5カ月の間に見られた蝶類の結果を報告します。

#### 1. 調查方法

調査は環境省自然環境局及び日本自然保



図1 蝶類調査の調査地域及び区間

	科 亜科	種名	6/13	7/18	8/8	9/12	10/10
1	アゲハチョウ科	アオスジアゲハ		4	2	3	
2	アゲハチョウ科	オナガアゲハ?		1			
3	アゲハチョウ科	カラスアゲハ				3	
4	アゲハチョウ科	キアゲハ				1	
	アゲハチョウ科	クロアゲハ	1	2		2	
	アゲハチョウ科	アゲハチョウsp	1	1	1		
	アゲハチョウ科	ジャコウアゲハ		6			
	アゲハチョウ科	ナガサキアゲハ		1			
9	アゲハチョウ科	ナミアゲハ	2		2	4	
10	アゲハチョウ科	モンキアゲハ		3	3	3	
11	シジミチョウ科	アカシジミ	1				
12	シジミチョウ科	ウラギンシジミ		1			
13	シジミチョウ科	シジミチョウsp	15	7			5
14	シジミチョウ科	ツバメシジミ					2
15	シジミチョウ科	ベニシジミ		1			
16	シジミチョウ科	ミズイロオナガシジミ	3				
17	シジミチョウ科	ヤマトシジミ		1	12	14	16
18	シジミチョウ科	ルリシジミ	2	3	1		
19	ジャノメチョウ亜科	コジャノメ		1	1		
20	ジャノメチョウ亜科	サトキマダラヒカゲ	1		3		
21	ジャノメチョウ亜科	ジャノメチョウsp		1			
22	ジャノメチョウ亜科	ヒカゲチョウ	1			4	1
23	ジャノメチョウ亜科	ヒメウラナミジャノメ		12	3	4	
24	ジャノメチョウ亜科	ヒメジャノメ	1		1	1	
25	シロチョウ科	キタキチョウ		1	2	2	5
	シロチョウ科	キチョウ s p		1	1		
	シロチョウ科	スジグロシロチョウ	1	1			
	シロチョウ科	モンキチョウ	1				
	シロチョウ科	モンシロチョウ	3	2			1
	セセリチョウ科	イチモンジセセリ				1	
31	セセリチョウ科	ダイミョウセセリ		1	2	4	
	タテハチョウ亜科				1		2
	タテハチョウ亜科			1	1	3	
		ツマグロヒョウモン	3	1	4	4	1
		ミドリヒョウモン?			1		
	タテハチョウ亜科		1		2	4	1
37	テングチョウ亜科		1		1		
		合計	38	53	44	57	34

注) ジャノメチョウ亜科、タテハチョウ亜科、テングチョウ亜科はタテハチョウ科に属します。

護協会における「モニタリングサイト 1000里地調査マニュアル」に準じて行い ました。調査ルートは植物相調査の図1の コースで行い、植生の違う6区間に分け調 査しました。区間の植生の特徴は図1に記 載したとおりです。調査頻度は月一度第二 金曜日に行い、調査ルートを歩きながら、 目視で判別できる種は記録し、シジミチョウ、キチョウ、ヒカゲチョウなど同定が難しい種については捕集網で捕集し、図鑑により確認し記録しました。

#### 2. 調査結果

今回は、5回のチョウ類調査を行いまし

た。調査日によっては気象条件などにより 出現する数に違いがありました。5回の調 査日別の調査結果を表に示しています。全 体とし37種が記録できました。

調査区間の結果から見てみると、A区間は鷹取山公園内で草地の他、クヌギ、コナラの落葉樹とシイなど照葉樹もある区間です。草地にはキタキチョウ、ヤマトシジミ、ツマグロヒョウモンなどが見られました。また、樹林内ではコミスジ、アカボシゴマダラなどが観察されました。B区間は住宅地及び児童公園があり、アゲハの仲間やツマグロヒョウモンなどが見られました。

C区間はシイ、カシなどの常緑樹の木々が多く、ここではヒカゲチョウの仲間やジャノメチョウの仲間が観察されました。 D区間はコナラ、オオシマザクラなどの落葉樹が多い場所であり、アゲハの仲間、コミスジ、サトキマダラヒカゲ、ダイミョウセセリなどが見られました。

E区間は杉林の林縁でありヒメウラナミジャノメなどジャノメチョウの仲間、ヒカゲチョウなどが多く見られた。F区間は畑地もある場所でモンシロチョウ、ヤマトシジミなど観察できた。なお、調査日以外ではアサギマダラが見られました。

#### 3. その他

三浦半島における蝶を含めた昆虫については三浦半島昆虫研究会によって調査が行われています。我々自然観察会では鷹取山周辺について今後も継続的に調査を行っていきます。植物相と違い動物は季節によって生活史も違い、移動もあり、気候の変化によって出現数も変化してきます。昆虫など動物相の分布を知るためには調査を繰り返すことによって地域の実態が分かってくるようです。

アマチュアの調査であり、種の同定に間 違いがあるかもしれないが、継続すること で精度が上がっていくと思っています。

当会では、2015年は5月から蝶類調査を毎月第1金曜日に行っていく予定です。 観察することにより、絶滅していく種やこの地域で新たに見つかる種もあるかもしれません。調査することは楽しみでもあり、続けることで鷹取山周辺の分布がはっきりしてくると思います。

写真1 蝶類調査 (9/12)



写真2 草地に多いツマグロヒョウモン (雄)



調査に参加した人(鷹取山自然観察会) 本多久男、中村紀雄、高橋和子、髙橋 毅 一郎、島村健二、渡邊眞章、石垣正博、 (順不同、敬称略)

#### 親子で巣箱作りと巣箱掛け(報告)

#### 1. 巣箱作りイベントの準備

鷹取山で巣箱をつくり、山へ巣箱を掛けるイベントを昨年に続いて企画しました。 巣箱を掛けるのは12月~3月といわれていますが、出来るだけ早い時期に掛けてしまうのが良いということで今年は11月に実施しました。

親子10組の募集を広報よこすかをはじめ、近隣の小学校、自治会の掲示板(浜見台地区)などポスターを掲示しました。最近は子供たちが忙しいのか、中々集まりませんでしたが当日までに何とか3人の小学生が参加してくれました。

#### 2. 巣箱作り

巣箱作りは11月22日土曜日、午前9時30分から12時まで行いました。イベントに参加してくれた方は小学生3人と親2人、大人1人、会員4人、市役所から2人でした。



当日は11月にしては朝から秋晴れの快晴で暖かく屋外の活動には最適でした。

最初に、巣箱作りの説明をして早々に子供たちと親たちとで巣箱の組み立てを行いました。巣箱はシジュウカラ用の巣箱で穴の直径は3センチです。9時50分頃から約1時間かけて10個の巣箱が完成しました。普段カナズチなど使っていない子供たちも

最初は苦戦していましたが最後にはすっかりうまく作っていました。完成した巣箱は 写真のとおりうまくできました。



#### 3. 巣箱掛け

作った巣箱は、さっそく鷹取山に巣箱を掛けました。12時までに9個の巣箱を掛けました。かける場所は地面から2~3メートルの高さで周囲に枝がなくて見通しがよい場所にかけました。鷹取山公園は横須賀市の公園で事前に設置の許可を頂きました。

今後シジュウカラ、ヤマガラが利用して くれるか継続して観察したいと思います。

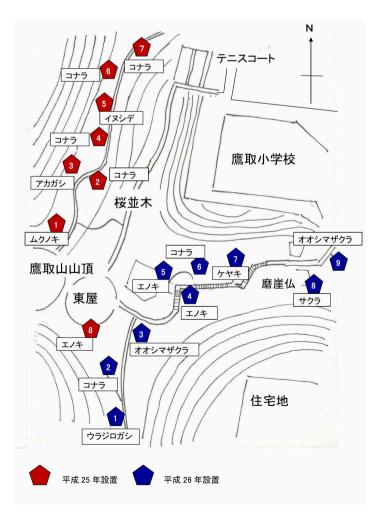


巣箱は、平成25年と26年の2度設置しました。前年度の巣箱は一度外して巣箱を熱湯で殺菌して昨年12月に付け替えしまし

た。設置した場所は図のとおりです。

会では昨年12月から第一金曜日に定期 的に野鳥観察を行っていきます。巣箱の利 用状況も観察していく予定です。関心のあ る方は是非参加して下さい。







#### シジュウカラ

全長14cm。平地から林、住宅地で四季を通じて見ることも多い鳥です。木の穴に巣を造りますが、人工的な狭い穴にもよく造ります。背中の上部は緑黄色で青灰色なのが特徴的です。喉から尻にかけてネクタイのような帯があり、胸の黒ネクタイが太いのがオス、細いのがメスです。シジュウカラは、関東ではだいたい3月下旬ころか

ら巣作りを始め、5月中旬ごろに巣立っていきます。個体によっては2回目繁殖や3回目繁殖をするものもいて、初夏くらいまではシジュウカラの繁殖がみられることもあります。

#### (図) 巣箱の設置個所

青印(右下)の場所は自然観察 会のときの観察ルートの一部 です。 26年度に子供たちと巣 箱を設置しました。

赤印(左上)は25年度に作った 巣箱を取り外して再度巣箱を掛けた場所です。観察会のルート ではありませんが、植物調査会 のルートの一部です。観察会の ルートと比べて道の整備は良く ありませんが、人の通りは少な く、巣箱がより多く利用される ことを期待しています。 照葉樹のアオキは常緑で、鷹取山の日陰の山道に沿って生け垣のようにたくさん茂っています。雌雄異種で3~4月頃花をつけ、雌株には昨年咲いた花の実が赤く付いています。子供の頃、赤くて丸いところからでしょう、この実を「だるま」と呼んで遊びに使いました。

フェンスなどなかった私が子供の頃の宅地は、庭が通路で、どの家にもアオキが植えてあり、だるまは取りほうだいでした。ところが、鷹取山やその周辺の山の「だるまの木」には、だるまがなっていません。子供の頃それが不思議でなりませんでした。大人になって、そのことを植木屋さんに聞くと、「庭木にするのに雌株をみんな抜いたからだ」と教えてくれました。

私の生家には庭がなかったので、庭がある家をうらやましく思ったものです。結婚した妻の家は、昭和の始めに建てられた家

で、玄関の前にアオキがありました。ところが雄の木で、実はならないので、私の子供と実で遊ぶことはありませんでした。

豊かになったからでしょう、今、庭木に新しくアオキを植える家は全くないでしょう。そのためか、鷹取山の山道のアオキには、赤い実がたくさん付いています。それを取って遊ぶ子がいないのも寂しいものです。



アオキの実

#### <編集後記にかえて>

ここのところ鷹取山でもタイワンリスの姿を非常によく目にします。また幹が剥がされたエノキなどの樹木があちこちに目立ちます。なかには立ち枯れた樹もみられます。どのような対策をとったら良いものやら。リスを捕獲するにしても、こう増え過ぎてしまってからでは、なかなか難しいように思います。といってこのまま何の手も打たなれば、さらに酷くなるでしょうし、ムムム、、なにか良い知恵はないでしょうか。(N)



鷹取山自然観察会 (ホームページを見て下さい。新しくなりました)

HP:鷹取山自然観察会(鷹取山の花と樹)

http://homepage3.nifty.com/takatoriyama/

連絡先:世話人代表: 本多久男 e-mail:fwjg2350@mb.infoweb.ne.jp

tel: 090-4177-0164

## 平成27年の行事予定表

鷹取山自然観察会では鷹取山の生き物調査などを行っています。これらの行事は全て自由 参加です。興味ある調査に是非ご参加ください。

#### 1. 植物相調査

日付	活動内容	調査方法
1月23日	調査は原則として第4金曜日に行	環境省自然環境局及び日本自
2月27日	- います。雨天の場合の日曜日に順	然保護協会における「モニタ
3月27日	延、更に水曜日に順延します。	リングサイト1000里地調査
サカとテロ	歴、	
5月22日		マニュアル」植物相調査に準
6月26日	集合時間、場所	じて行います。
/月24日		
8月28日		
	鷹取山公園東屋	す。
10月23日		
11月27日		
12月25日		

#### 2. チョウ類調査

日付	活動内容	調査方法
5月8日	調査は原則として第1金曜日に行い	環境省自然環境局及び日本自
6月5日	ます。雨天の場合は翌週の日曜日	然保護協会における「モニタ
7月3日	に順延、更に水曜日に順延しま	リングサイト1000里地調査
8月7日	す。	マニュアル」チョウ類調査に
9月4日	集合時間、場所は植物相調査と同	準じて行います。
10月2日	じ。 10時~12時30分頃	

#### 3. 野鳥調査

日付	活動内容	調査方法
1月9日	調査は原則として第1金曜日に行い	環境省自然環境局及び日本自
2月6日	ます。雨天の場合は翌週の日曜日	然保護協会における「モニタ
3月6日	に順延、更に水曜日に順延しま	リングサイト1000里地調査
4月3日	す。	マニュアル」野鳥調査に準じ
5月1日	集合時間、場所は植物相調査と同	て行います。
12月4日	じ。 10時~12時30分頃	

#### 4. 樹木板のメンテナンス

6月上旬	樹木プレートの掛け替えを行います。	公園内は市役所に許可を
0万工司	得て行います。	

#### 5. 巣箱作りと掛け替え

10月上旬	使用した巣箱の消毒と巣箱の掛け替えを行います。公園内は市
10万工的	役所に届けています。

6. 鷹取山の観察路の整備など今後検討していきます。

## 鷹取山自然観察会のご案内

## 平成27年自然観察会の予定

鷹取山自然観察会は次の日程(原則第二日曜日)で観察会を開催しています。山の中に入ると様々な生き物がまだ多く観察することができて楽しみです。会員以外の方も参加自由です。初めての方もお気軽にご参加ください。

日 程	観察会のテーマ	集合場所
1月11日(日)	冬を越す樹木を観察しよう	追浜駅
2月 8日 (日)	冬鳥の観察と冬芽を観察してみよう	京急田浦駅
3月 8日 (日)	早春の野草を探してみよう	追浜駅
4月12日(日)	春の花を見つけよう	京急田浦駅
5月10日(日)	オトシブミを見つけよう	追浜駅
6月14日(日)	イワタバコを観察しよう	神武寺駅
7月12日(日)	蝶とその食草を探してみよう	追浜駅
8月 9日 (日)	セミの観察と夏の花を観察しよう	京急田浦駅
9月13日(日)	秋の七草を観察しよう	追浜駅
10月11日(日)	鷹取山の野菊を観察しよう	神武寺駅
11月 8日 (日)	鳴く虫を探してみよう	追浜駅
12月13日(日)	落ち葉の種類を見分けよう	追浜駅

◆集合場所:集合場所駅改札出口 9時20分集合

観察会は12時まで(雨天の場合は水曜日に順延します)

◆参加費 : 100円(保険料・資料代)

◆定員:15人程度、先着順

◆申込方法:下記のアドレス宛てメール又は電話で申し込み下さい。なお、定員に達した場合はメールでご連絡いたします。

◆持ち物:メモ帳、鉛筆、飲み物、あれば虫眼鏡、双眼鏡など

◆主 催:鷹取山自然観察会

«お問い合わせ・お申込み先»

メールアドレスfwjg2350@mb.infoweb.ne.jp

HP「鷹取山自然観察会」から申込できます。

電話:090(4177)0164 本多

